学校番号	218

平成31年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	最新高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	最新高等保健体育ノート　（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ

・２年生では性教育の分野を学習します。個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく術を身につけていきましょう。その他、環境や食品、労働などについて学びます。あまり興味や関心を持ちにくい内容ですが、自分や家族はもちろん、日本全体の問題として深くかかわっていることを理解ができるようにしましょう！

２　学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に楽しむ資質や能力を育てる。
・健康増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a.関心･意欲･態度	b.思考・判断	c.知識・理解
観点の趣旨	自らの健康に関心を持ち、ノートやプリントに知識をしっかりとまとめたり、考えたことを発表したりして授業に積極的に取り組んでいる。	生涯を通じて健康を適切に管理し、改善していくために、各段階に応じた対策を自ら工夫して考えている。 健康の保持増進のために、自らの取り組みだけでなく、周りの環境の取り組みについても気づいている。 自然環境の汚染が社会生活における健康に影響を及ぼすことに気づき、自らそれぞれの環境汚染に応じた対策を考えている。	生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康とのかかわりを踏まえて、場面に応じた意思決定や行動選択が不可欠であることを理解している。 すべての段階において、保険･医療制度などのしくみや活用の仕方を理解している。 社会生活における健康の保持増進には、個人だけでなく、個人を取り巻く自然環境や社会の制度、活動などが深くかかわっていることを理解している。
評価方法	・学習活動への取り組み ・課題・ノート・プリントなどの提出物の状況	・定期考査 ・提出ノート・プリントの内容	・定期考査 ・提出ノート・プリントの内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習の内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			評価のポイント	評価方法
			a	b	c		
1学期	生涯を通じる健康	思春期と健康 思春期における体の変化について 思春期の心の発達にかかわる健康課題 性への関心・欲求と性行動 性意識の男女差 性情報が性行動の選択に及ぼす影響 妊娠・出産と健康 妊娠･出産の過程における健康課題 妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて 避妊法と人工妊娠中絶 家族計画の意義と適切な避妊法 人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について 結婚生活と健康 心身の発達と結婚生活の関係 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動	○	◎	◎	a.授業に積極的に参加し、プリントやノートに書き写せている。 b.心身の発達における心と体の変化に対応して、異性を尊重する態度について考えている。 b.受精、妊娠、出産とそれにともなう健康課題に気づき、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身の影響について考えている。 c.思春期における心身の発達や健康課題についてとくに性的成熟にともない、心理面行動面が変化することについて変化している。 c.健康な結婚生活について、心身の発達や健康状態など保健の立場から理解している。	学習活動への取り組み 課題・ノート・プリントなどの提出物の状況 提出ノート・プリントの内容 定期考査
2学期		中高年期と健康 年をとることにともなう心身の変化について 中高年期を健やかに過ごすための社会的な取り組みについて 医薬品とその活用 医薬品の正しい使用法や安全性を守る取り組みについて 医療サービスとその活用 さまざまな医療機関の役割 医療サービスを受け取るときの留意点	○	◎	◎	a.授業に積極的に参加し、プリントやノートに書き写せている。 b.自らの健康を保持増進するために、地域の保健所や保健センター、病院や診療所などの医療機関及び保健･医療サービスを適切に活用している。	学習活動への取り組み 課題・ノート・プリントなどの提出物の状況 提出ノート・プリントの内容 定期考査

		保健サービスとその活用 保健行政の役割や保健サービスの活用 さまざまな保健活動や対策 民間機関・国際機関などの保健活動や対策 大気汚染と健康 大気汚染の原因とその健康影響 地球規模の環境問題について 水質汚濁・土壌汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染の原因とその健康影響 環境汚染を防ぐ取り組み こんにちの環境汚染の特徴とそれを防ぐ取り組みについて	○	◎	◎	b.生涯を通じて健康を保持増進するために、検診などを通じて自分の健康上の課題を把握している。 c.日本や世界では健康の保持増進を図るために、健康課題に対応して各種の保健活動や対策が行われていることについて理解している。 c.医薬品には、医療用医薬品と一般用衣料品があること、承認制度により有効性や安全性が審議されていること、及び販売に規制があることを理解している。 c.人間の生活や産業活動にともなう大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などが人々の健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあることを理解している。	学習活動への取り組み 課題・ノート・プリントなどの提出物の状況 提出ノート・プリントの内容 定期考査
3学期	社会生活と健康	ごみの処理と上下水道の整備 ごみ処理の現状と問題 安全で質の良い水を確保するための仕組み 食品の安全を守る活動 行政や生産･正常者による食品の安全のための対策 食品の安全のためにできる私たちの活動 働くことと健康 働く人の健康問題とその変化 働く人の健康づくり 職場が行う健康増進対策について 余暇の大切さと活用の仕方	○	◎	◎	a.授業に積極的に参加し、プリントやノートに書き写せている。 b.安全な水を確保したり、安全にゴミや廃棄物を処理したりするために、生活で工夫しようとする点が見られる。 b.食品の安全のため、自分たち消費者が行うべき対策を考えている。	学習活動への取り組み 課題・ノート・プリントなどの提出物の状況 提出ノート・プリントの内容 定期考査

						b.余暇の大切さに気づき、職場が行う対策と自分たちにできる対策の両方を考えている。 c.上下水道の整備やゴミや廃棄物の処理は、学校や地域の環境と健康を守るために行われていることを理解している。 c.食品の安全性は、法律によって確保されており、製造･加工･保存･流通の各段階で適切な管理がなされていることを理解している。 c.労働災害は、時代による作業形態や作業環境の変化によって、質や量が変化していることを理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなりすべてに〇をつけているが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）については◎を付けている。